

和歌山市立認定こども園整備計画の見直しについて  
(市立保育所・幼稚園の今後のあり方について)

令和5年1月

福祉局 こども未来部 子育て支援課

## 目次

- 資料① 「和歌山市立認定こども園整備計画」に関する、  
現在までの和歌山市の経過と国の動向について…………… 1
- 資料② 「和歌山市立認定こども園整備計画」の見直しについて…………… 2
- 資料③ 市立保育所の今後のあり方について…………… 3
- 資料④ 市立幼稚園の今後のあり方について…………… 5

## 資料①

「和歌山市立認定こども園整備計画」に関する、現在までの和歌山市の経過と国の動向について

年度（年月）	和歌山市	国（内閣府・厚労省）
平成24年8月		「子ども・子育て支援法」を始めとした関連3法が制定される。
平成25年2月	「幼保一元化部会」を設置し、「和歌山市における今後の市立幼稚園・保育所のあり方」について、平成26年5月まで、11回にわたり検討会議を実施	
平成25年度	「和歌山市公立保育所民営化等整備計画」に基づき、市立保育所3園の民営化を実施	待機児童の解消を推進するため、「待機児童解消加速化プラン」を策定（29年度まで）
平成27年3月	「和歌山市子ども・子育て支援事業計画」（第一期）を策定	
平成27年度	・平成20年度から令和4年度までの「和歌山市公立保育所民営化等整備計画」をストップし、平成27年度から令和6年度までに市立幼稚園・保育所34園を11園の市立幼保連携型認定こども園へ移行する、「和歌山市立認定こども園整備計画」を策定	内閣府に子ども子育て本部が創設され、「子ども・子育て支援新制度」がスタート
平成28年度	市立芦原こども園建設事業がスタート	
平成29年度	市立本町こども園建設事業がスタート	
平成30年度		引き続き待機児童解消の推進ため、「子育て安心プラン」を策定（令和2年度まで）
令和2年3月	「第二期和歌山市子ども・子育て支援事業計画」を策定	
令和2年4月	芦原こども園と本町こども園が開園	
令和2年度～	「和歌山市立認定こども園整備計画」の見直しと「市立保育所・幼稚園の今後のあり方」について、検討を進める。	さらに引き続き待機児童解消の推進ため、「新子育て安心プラン」を策定（令和6年度まで）

## 資料②

# 「和歌山市立認定こども園整備計画」の見直しについて

平成27年4月「和歌山市立認定こども園整備計画」策定  
(平成27年→令和6年の整備計画)

### 【計画】

市立幼稚園・保育所 34園  
↓  
市立幼保連携型認定こども園 11園に

### 【現状】

芦原・本町認定こども園  
2園のみの整備に



「和歌山市立認定こども園整備計画」の見直しが必要に

### 2 【見直しする理由】

- ★ 幼保連携型認定こども園へ移行した保育所・幼稚園が、公立と民間を合わせて31園となり、第2期子ども子育て支援事業計画の目標値である30園をクリアし、一定の必要数が確保されたため。
- ★ 市立幼稚園は園児数が減少しているが、教育内容や幼少連携の取り組みが評価され、また、支援が必要な園児の受け皿になっていく必要がある。
- ★ 令和4年10月時点で112名の待機児童が発生しているが、私立保育所は0、1、2歳児の充足率100%の施設が多く、待機児童解消のための市立保育所の施設整備が最優先課題となってきたため。

今後の方針としては・・・



### 【今後の方向性】

- ★ 幼保連携認定こども園への移行ではなく、保育所として長寿化及び0、1、2歳児受け入れ拡大の整備を実施
- ★ 市立幼稚園については、教育内容の充実及び幼少連携の強化を図り、幼稚園のあり方について検討していく。

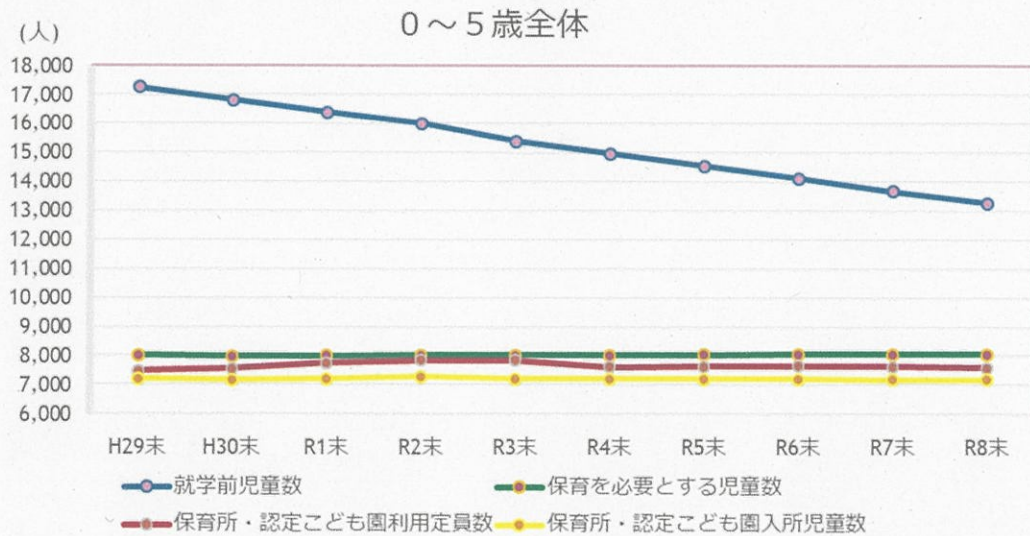
現在の整備計画は令和6年までの整備期間となっているが、令和6年度中に新たな整備計画スケジュール・方針を策定予定

## 市立保育所の今後のあり方について

### ●待機児童の解消について

- ・就学前児童数及び保育を必要とする児童数等の推移

「就学前児童数」は年々減少しているものの、「保育を必要とする児童数」は、「保育所・認定こども園利用定員数」を上回っている状況で、待機児童解消のための保育の受け皿確保の整備は必要であると考えます。



### ・ブロック別待機児童数 (合計112人)

(令和4年10月1日現在)

1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック
19人	8人	22人	18人	15人	30人
木ノ本 5人	かぜのこ 3人	紀之川 6人	さんた 10人	愛徳 4人	杭ノ瀬 13人
和歌山 4人	紀伊 1人	本町 6人	広瀬 4人	芦原 4人	つくし 5人
さかえ 4人	東洋 1人	城北 4人	宮 3人	砂山 2人	宮前保 3人
太陽 2人	三宝 1人	西和佐 2人	しろがね 1人	むつみ 2人	さつき 3人
のぎき 1人	あわ 1人	布施屋 2人		新堀 1人	みちる 2人
まつえ 1人	山口 1人	ひまわり 1人		ようすい 1人	安原 1人
すみれ 1人		小倉 1人		みどり 1人	しょうぶ 1人
まこと 1人					名草幼 1人
					片男波 1人

・待機児童解消に向けた取り組みについて

1、市立保育所

(1) ハード面

私立保育所・認定こども園においては、0、1、2歳児の入所率が100%となっている園も多く、さらなる受け入れは難しい状況であるため、市立保育所において保育室の改修等の0、1、2歳児受け入れ拡大の整備を行っていきたいと考えています。

(2) ソフト面

既存の市立保育所のクラス編成変更や保育士の確保を行い、0、1、2歳児の受け入れ拡大を図っていきたいと考えています。

2、私立保育所・認定こども園

(1) ハード面

私立保育所・認定こども園の施設整備につきましては、現在まで、認定こども園化と0、1、2歳児受け入れ拡大の整備を並行して行ってきましたが、公私立併せて31園が認定こども園へ移行し、第二期子ども・子育て支援事業計画の目標値である30園を達成していることを踏まえ、今後は、待機児童解消のための0、1、2歳児受け入れ拡大の整備に対する補助を最優先に行っていきたいと考えます。

(2) ソフト面

私立保育所・認定こども園については、保育士の確保やクラス編成変更などで、0、1、2歳児の受け入れ拡大をしていただくことで、待機児童解消につなげてまいります。

●市立保育所の今後の整備計画について

・砂山保育所

市立認定こども園整備計画では、岡山幼稚園を幼保連携型認定こども園へ移行し、砂山保育所を廃園とする計画となっていました。岡山幼稚園は幼保連携型認定こども園への移行は行わず、一方で、砂山保育所は入所児童数が多く、廃園は難しいことを踏まえ、保育所として存続し、長寿命化及び0、1、2歳児の受け入れ拡大のための施設整備を行うことで、周辺第4、5ブロックの保育所等の待機児童解消が見込まれると考えます。

整備内容については、0、1、2歳児の受け入れ拡大のための乳児用トイレや沐浴室の改修及び0、1、2歳保育室の拡張や改修、長寿命化のための外壁や防水などの改修を行います。

砂山保育所の施設整備は、令和5年度から実施し、他の保育所の施設整備につきましては、待機児童の動向を注視し、待機児童発生地域周辺の施設の状況を見ながら、令和6年度までに「市立保育所整備計画スケジュール」を作成し、保育所の長寿命化・民営化・閉園などのあらゆる施策を実施してまいります。

## 資料④

### 市立幼稚園の今後のあり方について

#### ○市立幼稚園の今後の方向性について

市立幼稚園では従来から、国が示す幼稚園教育要領に則り、全教職員で「幼児教育」の研究を行っています。全学年が研究保育を行い、毎週、研修等も行いながら指導方法等を探求することで、教師主導で教え込む教育ではなく、園児 1 人 1 人が主体的に活動して様々な可能性を引き出す教育に努めています。

11園中10園が小学校と併設しており、小学校の校長が幼稚園の園長を兼務している園も8園あることから、幼稚園と小学校の交流・連携が行いやすい環境にあります。普段から園児と小学生が交流し、教職員同士が情報共有や研修を行っています。そうすることで、園児は小学校生活の見通しを持てるようになり、教職員は互いの教育について理解するようになって、現在、問題となっている小1プロブレムの解消等にも繋がっていると考えます。

また、市立幼稚園には特別な支援を必要とする園児が多く在籍しています。保健所で市立幼稚園を勧められた子ども等の教育の場として重要な役割を担っているため、これからも安心・安全に過ごせるような支援に努めたいと考えます。

今後も市立幼稚園として、これまで積み上げてきた幼児教育の質をさらに向上させ、園児の支援方法等も教職員全員で研究し続けていこうと考えます。

そして、市立幼稚園・小学校との連携体制をさらに強めて、和歌山市の幼児教育と小学校教育が円滑に繋がるように努めていきます。

今後は、市立幼稚園の充足率や周辺施設の利用状況等を踏まえながら、幼稚園の統合、廃園等の検討を進めてまいりたいと考えます。

#### ※小1プロブレム

入学したばかりの小学校1年生が学校生活に適応できず、集団行動ができない、授業中静かにすることができない、話を聞かないなどの状態が数ヶ月継続する状態のこと。

